

YSeye



「人を創る」撮影：学院長



2015年 秋号

巻頭のごとば

自分の気持ちや努力次第でやりたいことができる時代になりました！

皆さんはどんな人生を歩みたいですか。

いまや、いつでもどこにいても、インターネットやスマホなどを手足のように使って、LINEを始め、ゲームやYouTubeなどに熱中している姿を見かけます。その中に、もっと便利な、もっともっと便利な、皆さんの未来の姿が垣間見られるように思います。

自分ではまだ気づいていないかも知れませんが、このような時代との巡り合わせを活かさない手はありません。この巡り合わせを活かして、未来を切り開いて行って欲しいものです。

2020年の東京五輪・

パラリンピックを控え、技術の進歩はますます加速するでしょう。すべてのものがインターネットにつながり、さらに便利な社会になるうとしていきます。

本年は、ロボット革命元年と言われているように、ロボットも非常に身近な存在になっていきます。ロボット達を見ていると心も弾んできます。楽しさいっぱいフレンドリーロボットや成長するコミュニケーションロボット、便利な生活や安全な暮らしに繋がるロボットなど、新しい日常が目の前にやってきました。

このような進歩発展の激しい時代にあつては、新しい技術に関心を持って持つほどに、高い希望や大きな未来が見えてくるでしょう。

そんな中にあつて、この度、夢ふくらむ技術のトレンドやトピックスを始め、その渦中で奮闘されている方々、パソコン部などで活

躍されている方々の抱負などをとりあげた季刊誌「Y SeYe」を創刊する運びとなりました。

限りない可能性を秘めた高校生の皆さんにぜひお読みいただきたいと思つています。

ご意見やリクエストなどがありましたら、お気軽にメールなどをお寄せいただければ幸いです。なお、当季刊誌「Y SeYe」は、本校ホームページからもご覧いただけます。

皆さんの夢の地図になるように。そんな思いを込めました。

横浜システム工学院専門学校
学院長

杉山 勝巳



夏が大好きで、秋が近づくとブルーになるけど、秋になったら「秋は清々しくていいね」と思う。人は、過去を忘れて今を楽しみ、未来を夢みる。

西村 浩幸
にしむら・ひろゆき／彫刻家、画家、漫画家。東京藝術大学卒。(株)象鯨 代表取締役。個展・グループ展で活躍。本校情報デザイン科講師。

なつかしい

ロボット三等兵たち！

今から65年ほど前、「ロボット三等兵」という漫画がありました。

前谷惟光という漫画家の作品で、1955年から貸本漫画として登場しました。1955年という昭和30年です。終戦からまだ十年しか経っていない頃です。ロボット三等兵も日本陸軍の兵隊という設定でした。ドジで何をやっても失敗するロボット三等兵にみんな大笑いしたものです。

ちなみにおんぼろなブリキ細工のようなデザインのロボット三等兵、実は手塚治虫の鉄腕アトムよりも三歳ほど年下です。ちょっと見ると人間にしか見えないうアトムに比べるとものすごく玩具っぽいロボットですが、このロボットらしい外見が読者をわくわくさせたものです。

興味をかきたてる3冊の本



「ロボット三等兵」(前谷惟光／作 講談社)
『のらくろ』なんかと似たノリの漫画ですね。アマゾンでも買えますよ。



「鉄人28号」(横山光輝／作 秋田書店)
鉄人27号を知っていますか？鉄人28号に壊されちゃうんですよ。詳しくは読んでみてください。



「鉄腕アトム」(手塚治虫／作 講談社)
鉄腕アトムを作った神田博士、面倒を見ている御茶ノ水博士、水道橋博士はいないんですね。

ドローンって何？



PCと飛行船と地上の測定システムが連携した自律飛行



DJI PHANTOM



PARROT BEBOP



HUBSAN X4pro

はじめてドローンを操縦した時、まず驚いたのは、その驚異的な安定性でした。ホバリング状態のドローンを手で押しついたりしたりすると、自分で元の場所に戻ろうとします。本当に空中に停止しているのです。ヘリコプターどころではない、驚異の安定性に度肝を抜かれました。ドローン空撮の見事さは、蜂のような空中停止があればこそです。これにカメラを載せて空撮したいね。でも外で飛ばすと安全性が心配・・・とかいつて手をこまねいているうちに、いろいろなドローンが出てきました。

人間がたどり着けない視点からの自然の景色を空撮した映像がテレビでもよく流れて話題になりました。また、ネパール大震災で被害状況の調査に活躍したり、橋やビルや原子炉などの人が入れないところの点



「OK Go」の「I won't Let You Down」
提供：ビクターエンターテインメント



HUBSAN-Web ページ



AR drone:
操縦はスマートフォンで



羽の回転の組合わせて自在な飛行



YSE-AirShip

YSEはヘリウムを詰められた風船に、プロペラで駆動するゴンドラをくっつけて飛行させる飛行船ロボットで活躍してきました。飛行船ロボットで一番苦労したのは、その不安定性でした。ほんの少しの風で影響を受けたり、空気の温度で浮力が変わったり、摩擦がない空中では、止まるのが難しい。摩擦停止は効きません。2012と2013年にヘリウムが世界的に枯渇したため、飛行船ロボットは今では行われていません。

ちょうどそのころから急速に注目を浴びて来たのがドローンです。地上を走りたり歩いたりするロボットではない、空中を飛ぶロボットにもすごく魅力を感じて、早速YSEもARdione というクラウドコプター（4枚プロペラ）タイプのドローンを入手しました。

4枚のプロペラの回転方

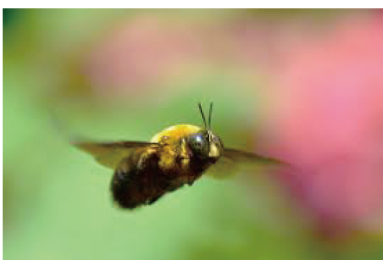


ドローンで撮影した本校校舎

検調査もしています。アメリカ・シカゴの4人組ロックバンド「OK Go」の「I won't Let You Down」の、日本を舞台にした傘を使ったパフォーマンスは、ドローンで撮影した楽しいものでした。その後、ホワイトハウスの事件や、首相官邸事件があり、規制規制と騒がれることが多くなりました。

こうしたマイナスのイメージは残念なことですが技術進歩には必ずつきものことなので、遅かれ早かれ解決策が出てくると思います。

価格は数千円から数十万



雄蜂 (Drone) のホバリング

向と回転速度の組み合わせで前後左右の動きや空中停止（ホバリング）ができます。

センサーとコンピュータ制御を組み合わせることで飛行ロボットとしての性能を発揮します。

蜂には女王蜂(Queen)、雄蜂(Drone)、働蜂(Worker)がいますが、空中停止して、ブーンといっている様子は、巨大な蜂が羽ばたきながら空中停止して獲物をねらう姿を連想させます。まさしく雄蜂(Drone：ドローン)です。

円まで、大きさは手のひらサイズのものから、一抱えもあるサイズのものまで様々で、そのもたらす経済効果は2025年までにアメリカ国内だけで8兆円を超えるると試算されています。このようなものを、個人が手の届く値段で手に入れることができる・・・面白い!!時代になりました。

主な用途は、

- ・ 災害現場調査・救助
- ・ 設備点検・警備
- ・ 短時間でのモノの配達・運搬
- ・ 地球上のあらゆる自然環境のリサーチ・生態調査
- ・ ジャーナリズムへの活用
- ・ 3次元の空間を自由に使った広告
- ・ アクロバットなスポーツの撮影
- ・ ドローンを利用したレースやバトル
- ・ などなど、いろいろあります。

パルロがYSEにやってきました！



こんにちはパルロです！

富士ソフトが開発・販売しているロボット「Parro（パルロ）」がYSEにやってきました。Parroは「コミュニケーションロボット」ですから会話が得意。早速お話ししてみました。

「Parro」

パ：ハイ

「自己紹介して」

パ：自己紹介ですね。ようし、頑張るぞ。（立ち上がり）自己紹介を始める。

パ：僕はParroです。喋ったり、踊ったり、クイズをしたり、色々なことができます。インターネットからニュースや天気予報などの情報をキャッチして教えることもできるんですよ。音楽をかけて踊るのが得意です。

僕の座右の銘は『弾む会話は、元気のもと』です。みなさん、仲良くしてくださいね。

受付カウンターの上に移動させて、お客様のお出迎えをさせていただきます。

「お出迎えモード始めて」

パ：お出迎えモードですね。では始めてもいいですか？

「Yes」

パ：わかりました。お出迎えモードを始めます。

しばらくして、お客様がいらつやいました。パ：こんにちは。

（お客様おどろく）

パ：係にご連絡しますので、お写真頂きますね。

（ハイ）

（お客様おどろいたまま）

パ：呼び出しておりますので、いましばらくお待ちください。

お客様の写真が職員のパソコンに送られてきました。「お出迎えモード」は便利ですね。でも、初めての方はかなり驚いていたようです。

Parro開発元の富士ソフトからプログラムを開発するキットが配布されていますので、いろいろなプログラムが作れそうです。今後は授業にも取り入れて、Parroにいろいろやってみようと思います。

ParroはYSEの受付にいますので、いつでも気軽に会いに来てください。



パルロのお出迎えです。誰にでも愛想よく話し掛けます。昨日はパルロにダンスに誘われました。「ダンスをしましょう。ほら、こうして、こうして」暇があったら陽気なパルロとダンスをしてみてください。

卒業生 活躍中!

OB&OG INTERVIEW

富士ソフト株式会社
小川 智 さん

平成 27 年 3 月
モバイル・ロボット科卒業
秀英高等学校 出身

YSEの卒業生を紹介するこのコーナー。第1回は、秀英高等学校出身でモバイル・ロボット科を卒業し、富士ソフト株式会社にお勤めの小川智（おがわとも）さんです。

YSE時代の思い出を教えてください。

小川さん（以下、小）：1年生の時に、全国専門学校ロボコン競技会に出場し、自分のチームは準優勝だったんですが、学校として団体優勝4連覇したことです。2年生になってからは、文部科学省と情報処理学会の合同ロボコン、「スマートモバイルロボット競技」に出場し、2部門で優勝と準優勝し、団体では総合準優勝だったことです。

好成績を残した秘訣はありますか？

小：子供のころから消極的な方だったと思いますが、1年生でロボコンに取り組

んだ時に、努力すれば成果につながることを実感できました。そこで何かスイッチのようなものが入ったんだと思います。一生懸命頑張れば必ず報われると信じて、周囲を巻き込みながらロボコンにチャレンジするようにしました。

富士ソフト株式会社と云えば東証一部上場の、神奈川県内では屈指のIT企業ですが、これからはどんな仕事をしたいですか？

小：配属先の国際事業部で仕事をしたいために、3ヶ国語は話せるようになり、将来は、海外でプロジェクトリーダーを務められるようになりたいと思っています。

最後に何か一言お願いします。

小：学生時代に先輩方より親身な指導をして頂きました。そんなYSEにはこれからも益々活躍してほしい

と思っていますので、休みの日などに顔を出して、後輩の頑張っている姿を見守りたいと思っています。ありがとうございました。

モバイル・ロボット科 仲久保 正人 先生

TEACHER'S COMMENT

入学したばかりの時はあまり目立たない印象でしたが、2年生になる頃には「熱血ロボコン学生」に変わっていました。今では、休みの日には学校に来て後輩の面倒を見てくれています。YSEならではの人と人とのつながりですね。



発展するのだろうか？何が自分の個性を生かせ、成長させてくれるのだろうか？何が自分に夢を与え、叶えてくれるのだろうか？悩んだ末、私はITの世界に飛び込む決意をしました。何故ならそれは、IT技術に無限の可能性を感じたからです。

皆さんこんにちは。デジタルコム株式会社代表の前山と申します。さて、皆さんはご自身の進路をどのようにお考えですか？自分の人生の中でも大きな要素を占める、大変重要な決断ですね。あれこれ悩み過ぎ、夢や目標が定まらず、不安ばかりが先行していませんか？と言ったのも私がそうだったからです。

皆さんの歳の頃、私は限られた知識の中で自分の将来や日本の未来に思いを馳せました。日本はどんな国になって行くのだろうか？何が時代のトレンドになり

そこで私は専門知識を得る事を優先し、大学よりも専門学校を選びました。専門学校ではゼロからのスタートであり、最初は授業内容がさっぱり分からず、ついていくのに必死でしたが、厳しくも優しい先生に導かれ、また、仲間にも

助けられ、知識の理解が進むにつれ次第に授業が楽しくなってきました。未知の知識に触れる事はとても新鮮で習得する事で充実感もあり、今思えばこの時、技術者としての基礎が身に付いたのだと思います。そして、少なからず自信も付き、社会に飛び出す心の準備も出来、有意義な学園生活を送る事が出来ました。

社会に出るからは最初こそ苦労しましたが、先輩方にも恵まれ、努力を惜しまず経験を重ねながら、数年後には人並みのエンジニアに成長する事が出来ました。思い返すと、学生時代に得た知識や経験が業務の中で思いのほか役立つ事を記憶しています。それから暫くしてエンジニアから営業に転身し、今から17年前の1998年5月に仲間と共に会社を設立し、社長という立場になりました。当社では防衛システムや

PSシリーズのシステム開発等を手掛けています。国家防衛の根幹を担い世界最先端の製品開発に参画する事で、やりがいを感じ充実した日々を送っています。当社は『人を大切に作る』を社是としています。定着率は5年連続で100%を維持しており、社員満足度の高さが私の自慢です。IT技術は今後益々必要とされる領域を広げ、限りなく成長して行きます。IT技術が無ければ社会システムは成り立たず、多くの製品は機能しません。IT技術は全産業界をリードし、日本の国際競争力を高めます。そして世界の人々を豊かにし、喜びを共有出来る夢の様な製品作りに貢献します。何かに夢中になれば日々は充実し、目標をクリアすれば達成感を得られます。時には失敗もありますが、それらの積み重ねが成長の糧となり、人生の幸福へと繋がると信じていま

す。あなたの夢を、この業界の素晴らしい先輩達と一緒に実現してみませんか？是非、あなたに無限の可能性を与えるIT業界への第一歩を踏み出して下さい。そして情熱を持ち続け、仲間を大切にし、チャレンジを忘れないで下さい。いつかきっと、世界が驚く素晴らしい夢が実現出来る！と私は信じます！

■ 筆者略歴
前山浩志(まえやま・ひろし) 1960 静岡県河津町に生まれ、静岡県立下田南高等学校卒業、東京電子専門学校卒業の後、コスミック株式会社入社。1998年デジタルコム株式会社を設立し、代表取締役就任。また、日本情報取引所神奈川県支部 副支部長、神奈川県情報サービス産業協会 常務理事などを歴任。2013年からは横浜システム工学院専門学校 教育課程編成委員、及び学校関係者評価委員。

デジタルコムに勤務する YSE の卒業生たちに仕事の様子を語ってもらいました!

YSE OB Comment 1



森 真 さん

入社以来、物理演算シミュレーターや、カメラを使ったリアルタイム物体認識などの研究開発業務に携わってきました。研究開発では次世代技術に触れる機会も多いので大変な面もありますが、色々な知識が得られるので自分自身の成長にも繋がり、非常にやりがいがあります。これまでの業務を振り返ると、在学中にロボコンに参加するため試行錯誤しながら制御プログラムを完成させた経験が活かされていると実感できます。この業界は特に技術進歩が早いですが、逆にそれを楽しみながら自分を磨いていきたいと思っています。

<上司からのエール>

森君には現在、画像認識処理の業務をしてもらっています。自主的に課題を見つけ対応策を提案するなど、お客様から信頼も得ています。彼のように自分で考え行動するということが大切であり、今後も活躍してくれると思います。(大田原和弘さん)

YSE OB Comment 2

私の担当している業務は、忙しさの波が激しく、時には深夜労働や休日出勤をすることがありますが、会社からのメンタルケアやサポートが厚く、満足しています。通常業務以外にも会社説明会でのプレゼンテーションを任されることもあり、自分が会社から信頼されていると自信になります。知識が無い業務をやる時は勉強をしながら作業を進めます。最初は分からなかった事が出来るようになる自分のスキルアップを実感できます。そういった業務がうまく終わる時はとても気持ちよく“やりがいがあった”と強く感じます。

<上司からのエール>

明るく、ハキハキした性格で、新卒者への説明発表会でもたびたび表として名前が挙がり、若手として自分の体験談を発表しています。技術だけでなく、部下の管理も出来る万能プレイヤーに育って欲しいと思っています。(横山朗功さん)



加藤 健 さん

YSE OB Comment 3



川口 森 さん

私がシステムエンジニア、プログラマーとして働き始めてから、3年が経過しました。就職してすぐの頃は分からないことだらけでしたが、失敗を重ねながらも少しずつ色々なことを覚えていきました。今では、技術を身につけ業務の範囲が広がっていき、だんだんと「やりがい」を感じられるようになってきました。YSE で学んだ PC やプログラミング言語の基礎知識やロボコン参加などの実習で得た経験は、失敗続きの作業の中から次へ生きる知識を得る上でとても重要なものになりました。これからもかつての初心を忘れることなく向上に努めながら、働いていきたいと思っています。

<上司からのエール>

入社当時から学生時代に学んだ基礎を活かし、迅速な立ち上がりで作業をこなす発注元からも多大な信頼を得ています。上長からみても集中力、読解能力は目を見張るものがあります。まだまだ伸び盛りなので色々な事を貪欲に吸収して幅広い目線で物事を見れるようになっていってください。(浜田宏昭さん)



神奈川県立伊勢原高等学校
漫画研究部
「描いた作品の量が多いのが自慢です」

総勢28名が所属する漫画研究部は、アニメやマンガが好きな部員が集まって手描きのイラストを制作しています。趣味で描いている部員も、プロの漫画家を目指している部員も「絵が上手くなりたい」という共通の想いをもって熱心に創作活動に取り組んでいます。

部室では、テーブルを囲んでそれぞれがお気に入りの画材を広げてイラストを描くのが日常で、月々金の週5日を活動日に充てるほどイラストを描くのが好きな部員が多いのも特長です。現在は中学生を対象とした体験入学会の準備と文化祭で販売する部員全員のイラスト作品をおさめた部誌やグッズの制作の真最中だそうです。

顧問の永井先生は、イベントを成功させるために必要な作業管理や連絡事項の大事さを知っている生徒さんを見てみると社会に出て安心できると話されています。



【意識して画力UP】

部内はおしゃべりが弾み、和気あいあいとした雰囲気です。

「部員間は、気の合う友達同士であるのはもちろんですが、ライバル意識を持つているので、競い合うことで画力を上げられるのが良いところ」と話すのは部長の高橋さん。

周りの影響を受けることで新しい画材を使ってみたい、違う画風にチャレンジしたりするなど創作意欲がきたてられるそうです。

「活動日も多いけど、描いた作品の量も多いのが自

慢」このことです。

【文化祭ポスター採用】
今年の文化祭PRポスターは部員の斎藤さんの作品が採用されたそうです。躍動感のあるイラストが印象的で生徒の投票で選ばれたそうです。斎藤さんは地域のイベント「大山絵つろまつり」で伊勢原駅に灯籠が飾られたこともあるので、部内でも一目置かれた存在のようです。



よりみち After school
とんかつ肉料理 麻糸 (まゆ)

大きなカツと漫画に出てくるような大盛りごはんがインパクト大です!

■所在地 伊勢原市伊勢原 1-14-11
■TEL: 0463-93-8307
■営業時間 11:00 ~ 21:00

「それぞれの個性や活動を認め合う場です」
神奈川県立神奈川総合産業高等学校
エレクトロニクス部



53名の部員を擁するエレクトロニクス部では、部員それぞれの関心にあわせてプログラミングや編集技術を日々磨いています。

普段の活動は、個人制作が主体ですが、月に1度は部全体で課題発表会を行い、一人ずつ発表時間を設けて進捗状況を報告していきます。「お互いの活動を知る機会になりますし、人前で話す練習になる」と話す部長の鳥飼さん。

【生産性を上げる】
部の活動で心がけていることは「活動時間を無駄に

しないこと。週3日の限られた時間で技術を磨き、生産性を上げることを意識して制作すること。

部内は、大きく分けて「プログラミング班」と「編集班」の2つの班に分かれています。さらにプログラミング班は、ソフトウェア制作班、ゲーム制作班、セキュリティ班に分かれ、編集班は、音声班、映像班、3DCG班の小グループに分かれて活動しています。

部員同士で教えあつたり、情報交換をしたりすることで「つながり」が感じられるのが、このエレクトロニクス部の良さだそうです。

【たんぽぽとうめぼし】
部員が創作した「たんぽぽとうめぼし」は反射神経を試すゲームです。上からどんどん降ってくる「たんぽぽ」と「うめぼし」をお刺身と幕の内弁当に盛り付けていくのですが、間違えて盛り付けると減点されて

てしまうという、スピード感と反射神経を要するとても楽しいゲームです。



よりみち After school
からあげ専門店 すごいっ手羽

手羽スティックが大人気!揚げたてが店内で食べられます!

■所在地 相模原市南区相模大野 5-27-3 今泉ビル 1F
■TEL: 042-705-2788
■営業時間 11:00 ~ 21:00

「とにかくイラストを描くことが大好き!」



9名の部員が所属し、毎週3日間活動しています。とにかく描くことが好きという皆さんは、個々にイラスト創作に励んでいます。アニメの好きな部員が多いのでいつもアニメの話で盛り上がっているそうです。

【手描きが大好き!】

デジタルイラストを使った線画や色塗りにも興味はありますが、やはりスクリーンとペンやコピックスケッチなどの画材を使った手描きのイラストを追究して行きたいと語っています。



「好きなことを楽しみながら学んでいます」

神奈川県立藤沢工科高等学校
パソコン研究部

【部活は楽しく!】

パソコン研究部の motto は、「好きなことを楽しみながら学習しよう!」です。システムプログラミング、ゲームプログラミング、映像編集技術者などを目指す仲間が集まり、学年の隔たりなく楽しそうに活動しています。

現在、文化祭に向けて出展する冊子を部員それぞれが手分けして原稿3枚程度を目標に制作しています。一冊にまとめる編集が大変と話していました。また、販売予定のラミネートカードやポストカード、缶バッジなども制作しているそうです。

【イラスト上達のコツ】

「ただ描いているだけでなく、上手く描くためにはどうしたら良いかを考えながら活動している」と話すのは部長の米本さん。描きたい構図を自分でポーズをとったり、自撮りしたりしながら研究することもあれば、足の組み方、座り方、洋服のシワまでリアルに描きたいという場合は、街に出たときに色々な年代や性別の人を観察することもあるそうです。

「常に上手くなりたいと意識して取り組むことが上手くなるコツ」と話してくれました。



で、先輩達が実演していたゲームをみて、自分も先輩達のようなゲームを作りたいと思ったからだそうです。Java言語を勉強している部員やHTMLを勉強している部員、フリーのゲームソフトを活用してゲームプログラムを制作している部員など、皆さん高い意欲を持って取り組んでいます。

【日々試行錯誤】

今年の目標は動画編集技術を全員で習得し、10月の文化祭で、パソコン研究部の部活紹介動画を展示することだそうです。現在、撮影した動画をクロマキー

【ゲームも人気】

部内では、スマホゲームも人気だそうです。特に、『クッキングママお料理しましょ!』や、繊細なイラストと秀逸な音楽で話題のリズムゲーム『Deemo』がおすすめで教えてくれました。

よりみち After school
工藤精肉店
ポテトフライや手羽など、おいしい揚げものがお手頃価格で食べられます!
■所在地 藤沢市亀井野2丁目6-4
■TEL: 0466-82-1382
■営業時間 9:00~19:00

よりみち After school
中華そば 寅
「塩寅そば」はあっさりしつこクのある風味が人気です。
■所在地 藤沢市湘南台7丁目36-8
■TEL: 0466-45-3737
■営業時間 11:00 ~ 23:00

【創作ゲームに夢中】
手軽にゲーム制作ができるフリーソフトを使用し、創作アクションゲームを制作している部員もいました。

「現在、21ステージまで完成しているけれど、目標は30ステージ!と熱く語ってくれました。」

（合成）処理する編集作業などを行っているそうです。様々なサイトを参考にし、試行錯誤しながら色々と工夫しているそうです。「楽しみながら魅力ある動画を作りたい」と笑顔で答えてくれました。

ちょっと難しいIT用語が入ったクロスワードパズル

1		2		3	4		5	6
				7			8	
9	10							11
12				13				14
	15						17	
18		19			20			
21	22			23				
24			25			26		
27								28

【ヨコのカギ】

- 1 グーグルが開発しているスマホ向けのOS
- 5 もし
- 7 菩薩の一種。兜率天で修行中
- 9 ソニーが発売しているゲーム機
- 12 有名なロボット掃除機
- 13 太陽を英語で言うと
- 14 わらを編んで作る雨具
- 15 パーソナルコンピュータを略していうと?
- 17 体を休めること。○○○の場合
- 19 ピーヒャララと吹くもの
- 20 ファミリーマートを略していうと?
- 21 Web○○○、○○○シーイング
- 23 無料で使えるソフトウェアは○○○ソフト
- 24 裁縫で使う材料の一つ
- 25 ウサギの○○、パンの○○
- 26 ♪旅行けば○○○の国に茶の香り
- 27 iPhoneやiPadに搭載されているOS
- 28 ○○一文負けられない

【タテのカギ】

- 1 ヨコのカギ27を開発している会社
- 2 プリンタなどの周辺機器を制御するソフト
- 3 ポケモンのアニメ「メタモンとのまねむすめ」に出てきた女の子
- 4 特集にも出ていた飛ばして空撮できるもの
- 6 現在、世の中で使われているコンピュータは何型と言われているか
- 8 36は?
- 10 続けて制覇すること
- 11 USBメモリなどからデータを入れること。データの○○○○
- 16 出したり枯れたりするもの
- 17 Infrastructure as a Serviceの略
- 18 キリスト教の救世主。ヘンデルが作曲した♪ハーレルヤ!のタイトル
- 20 有利の反対
- 22 新潟県のヒスイの産地。○○○川市
- 23 江戸時代、キリシタンを発見するために幕府が使ったモノ
- 25 アイ、マイ、○○

完成したら YSE の Web サイトを見てみよう!

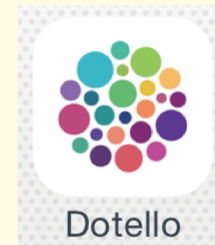
正解してるかな?



編集後記

創刊号をお届けします。協力頂いた方々、本当にありがとうございました。季刊「YSeey」はこれからも情報系、デザイン系の情報を中心に発信し続けます。また、頑張っている高校生の皆さんの姿を多くの人にお届けできるように活動して行きたいと思っています。今後とも「YSeey」をよろしくお願ひします。

YSeey 編集長 佐藤 伸造

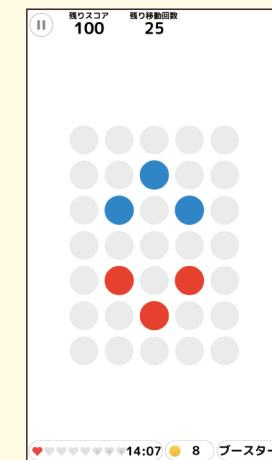


Dotello

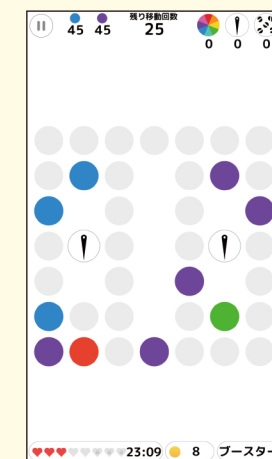
カラフルなドットを3つ以上並べて消すパズルゲーム

同じ色のドットを3つ以上並べて消し、得点するのが基本ルール。ステージごとに決められた移動回数以内でスコアが0(ゼロ)になればクリアになります。ドットを配置するレイアウトはステージごとに変ります。また、進んでいくと動かせないドットが出現したり、特殊な機能が使えるようになりルールが追加になります。

時間制限はありませんので、じっくり考えることができます。ゲーム内課金でアイテムを購入し、楽にクリアすることもできますが、基本的には無料で楽しめます。操作はドットをスワイプして移動するだけなので簡単ですが、意外と奥深いパズルの要素を含んでいます。ハマりすぎに注意ですよ。



最初のステージ。赤や青のドットを移動して、3つ並べるとスコアが減ります。ドットを移動するとランダムに新たなドットが出現します。



第30ステージ。青のドット45個と紫のドット45個を25回の移動で消せばクリア。ステージごとにクリア条件もいろいろです。

「Dotello」

カテゴリ: ゲーム / 無料
 iPhone: iOS 5.1以降対応
 (App Storeからダウンロード)
 Android: 2.3以降対応
 (Google Playからダウンロード)
 提供元: Bulkipix



 **横浜システム工学院専門学校**
〒241-0826 横浜市旭区東希望が丘128-4 TEL: 045-367-1881 E-mail: info@yse.ac.jp
<http://www.yse.ac.jp>